

巻頭言

全国犯罪被害者の会 (あすの会) 最終大会に参加して

椎橋 隆幸 3

特集 AIと刑法

☆ ロボットの刑事責任2.0

川口 浩一 4

☆ AIによる自動運転と刑事責任

佐久間 修 11

特集 詐欺罪における実行の着手

☆ 最高裁平成30年3月22日第一小法廷判決の事実の概要、審理経過および判決要旨

佐藤 拓磨・二本柳 誠 17

☆ 詐欺罪における実行の着手

——最高裁平成30年3月22日第一小法廷判決を契機として——

佐藤 拓磨 21

☆ 詐欺罪における実行の着手

——最高裁平成30年3月22日第一小法廷判決を契機として——

二本柳 誠 33

外国刑事法務事情

・台湾の「国民参与刑事審判法草案」について

劉 芳伶 48

・英国刑事法務事情55——LV 2018年3月～5月の主要動向——

清野 憲一 60

外国刑事法研究

・レオ・ザイバード「哲学 (Philosophy)」——比較刑法ノート14——

比較刑法研究会 77

刑事裁判例批評

(365) 被告人が殺意をもって被害者を自動車の車底部で引きずった後、殺意なく被害者の身体を車輪で二度にわたり轢過した結果、轢過行為を直接の原因として被害者が死亡した事案について、引きずり行為と死亡結果との間の因果関係を肯定し、殺人罪の成立を認めた事例

——大阪地判平成29・3・1判時2355号111頁——

佐川友佳子 88

(366) 現住建造物等放火罪の量刑において、(重) 過失致死として起訴されていない死亡結果を考慮することの可否

——最(三小)決平成29・12・19刑集71巻10号606頁——

野村健太郎 96

(367) 地下鉄サリン事件等のオウム真理教関連事件に関与したとして起訴された被告人について、1審で行われた死刑確定者の証人尋問における傍聴人との遮へい措置と、公判期日外の証人尋問の実施に関する各訴訟手続の法令違反等の論旨を排斥して控訴を棄却した事例

——東京高判平成28・9・7判時2349号83頁——

稗田 雅洋 102

(368) 出張中に趣味であるヌンチャクの練習を行う等のために自動車後部座席下等にヌンチャク3組を積載していた行為と軽犯罪法1条2号における「隠して」および「正当な理由」の該当性

——広島高岡山支判平成29・3・8判時2354号109頁——

松原 和彦 115

書評

・天田悠著『治療行為と刑法』(2018年、成文堂)

只木 誠 122

・関哲夫著『不正融資における借手の刑事責任——事実的対向犯説の提唱——』(2018年、成文堂)

品田 智史 124

・城祐一郎著『現代国際刑事法——国内刑事法との協働を中心として——』(2018年、成文堂)

安藤 泰子 126